

Smile Woman!
インタビュー①この人の仕事のかたち
どこか置いてある「仕事」をしているあの人のズームアップ。

kanako Matsumuro

ガラスアートの魅力 をより多くの方々へ

岡山市街地の南側、北区東古松南町の閑かな住宅地へ昨年4月にオープンした「アトリエ&ギャラリー松ノ室」。土蔵を改装した和レトロな佇まいのアトリエで、スタジオグラス作品の制作・展示・販売を行っている。オーナーにしてガラス作家でもある松室華奈子さんは、自らの創作活動に取り組みかたわら、体験教室に訪れるお客さまへ気さくに対応し、とかく敷居が高いと思われるがちなガラスアートの世界に気軽に触れられる場を提供している。

◎ガラスの美しさに魅せられて

幼い頃からテラブリが好んで、冷たいイメージのあるガラスでありながら温かみのあるステンドグラスに興味があった松室さん。しかし芸大などでガラス工芸を専門的に学んだ経験はなく、東京で進学卒業後、TV放送会社に勤務していた。岡山へ帰郷後、10年前にあるガラス作家の作品展をたずねた際、作家さんと懇話になりお手伝いする機会にめぐり合った。その後はアルバイトをしながら自宅で創作に取り組みようになり、昨年アトリエを開設した。「ガラス作家としては経験の少ない私ですが、カタチのない状態からモノを作っていくのは、ガラス工芸も放送映像制作も同じです」と松室さんは話す。

◎長く愛される作品を届けたい

ガラスアートの魅力をたずねると、「いろいろな素材の色ガラスがあつて、太陽光や照明光を通すとま

アトリエ&ギャラリー松ノ室
主人

松室華奈子さん

☎090-9416-6105
★岡山市北区東古松南町522

た印象が変化するので、見ていて飽きません」と語る。アトリエではお客さまの希望に応じて制作する1点ものオーダーメイドも手がける。「使い捨ての製品があふれている時代だからこそ、長く大切に使用していただけるものを届けていきたいですね」と松室さんは語気を強める。

◎気軽に楽しめる体験教室も好評

松室さんにオフタイムの楽しみをたずねると、「趣味がそのまま仕事ですから…」と笑いつつ、「外出先で目にしたものからインスピレーションを得ることもあります。作品づくりのことはいつも頭にあります」と語る。その眼差しからは、ステンドグラスの愛や創作にかける思いがにみ出る。

また予約制の体験教室では、気軽に楽しめるスノードームや、フュージングガラスのペンダントトップ、ステンドグラスのオーナメントなどさまざまなメニューを用意して好評。リピーターも数多いという。さらに現在、オープン1周年記念として、輸入シテイ1kgラスを使ったナイトランプの制作体験(有料)を5月中までの期間限定で開催中。「興味はあるけれど難しそう」と思っている方もぜひこの機会に、お気軽にご予約のうえチャレンジしてみよう。

